

江東区議会議員

鈴木あやこ

江東区政に働く女性の目線を!

2019年
3-4月号
Vol.67



鈴木あやこプロフィール

- 1975年2月18日生まれ。
江東区猿江、潮見を経て豊洲在住。
- 成城大学文芸学部卒、早稲田大学大学院公共経営研究科修了。一新塾出身。
- 1997年 NTTドコモ入社。
- 2011年・2015年 江東区議会議員選挙当選。現在2期目。
- 日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」3回受賞。
- 趣味は料理、水辺散策、登山。

鈴木あやこホームページ

<http://www.suzukiayako.com/>
「鈴木あやこ」で検索!



働く世代のワーク・ライフ・バランスを応援します!

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催地であり、湾岸エリアを中心にめざましい発展をとげる52万人都市・江東区。子どもたちやお年寄りが安心して暮らしていくためにも、現役世代が働きながら地域社会に関わりをもてるまちづくりを目指します!



鈴木あやこの活動報告

豊洲町会もちつき大会(2月17日)

豊洲町会のもちつき大会に参加。
毎年恒例で開催されており、今年も地元の子どもたち・ご家族連れで賑わっていました。おいしいお餅とおしるこでみんな笑顔でした。
PTA・自治会やマンションなどの様々な地域で開催されているもちつき大会。地域コミュニティの活性化の取り組みに感謝し、私も推進していきます。



船から湾岸エリアの野鳥観察(2月17日)

江東区内外の水辺の活性化に取り組むココベリプラスと、和モダン舟を運行する「舟遊びみづは」の毎年恒例の企画。日本橋～隅田川から、豊洲・有明などの江東湾岸エリアの野鳥を観察。オリンピックや豊洲市場開場で、水辺の風景が毎年変わる中、「野鳥のサンクチュアリ」といわれる江東湾岸の水辺の魅力を再発見しました。水辺の活性化。しっかり取り組んでまいります。



毎月恒例! 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、皆様とざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください!

- 第95回: 3月18日(月) 19:00~20:30
- 第96回: 4月5日(金) 19:00~20:30
- 第97回(予定): 4月24日(水) 19:00~20:30

豊洲文化センター 第3研修室(江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター8階)



最新の「あやこcafé」開催情報は、鈴木あやこホームページやSNSをご確認ください。日程が合わない方でご希望の方には、出張で「あやこcafé」も可能です。少人数でもお気軽にお問い合わせください。



江東区議会平成31年第1回定例会は、2月19日に開会し、3月19日に閉会。今回の定例会は2期目の任期中最後の定例会でした。予算審査特別委員会で行った質問の一部を紹介します。

鈴木あやこの議会質問 (平成31年予算特別委員会)

待機児童問題は江東区の喫緊の課題である。平成31年度予算で保育施設の1,300人の定員増を行うことは評価しているが、依然として保育園に入れないという声は多い。待機児ゼロに向け、区としてさらなる努力が必要である。

①今年度の保育園入所の一次募集の結果について

【質問】

現時点の速報値と、区の認識について。入所できなかった申込者への対応状況と保育園ナビゲーターの活用について伺う。

【答弁】

一次募集の申込者は5,035人(前年度比25人減)。そのうち入所内定者は3,341人。待機は1,651人(昨年比68人減)。依然として多い状況が続いており、待機児童対策を更に進めていく必要性を感じている。

②入所できなかった方へのその後の対応と保育園ナビゲーターの活用について

【答弁】

待機者に対して保育ルームの受付を行い、2月15日に新たに41人の入所を決定。二次募集の結果発表後もあっせんや定期利用保育、居宅訪問型保育などを実施し、一人でも多くの保育の受け皿確保に向けて取り組む。保育園ナビゲーターは、一次募集の結果発表後から待機児童に対するフォローコールを実施し、様々な保育サービスのご案内や認可外保育施設の情報提供を行っている。

③3歳児が保育園に入園できない「3歳の壁」問題について

平成30年度の待機児童においても、76人の待機児童のうち、3歳児が65人と、85%を占めており、大変切実な問題。

これまでの保育待機児童は、0,1,2歳の入園が厳しいというものが多かったが、昨年や今年は、3歳児の入園が厳しいという声が多い。特に2歳までの認可外に預けている保護者にとって、3歳で待機児童になると、仕事をやめないといけなくなるという切実な問題があり、仕事と子育ての両立の意味でも3歳児の待機児童の問題解決は急務。区としての取り組みを伺う。

【答弁】

3歳児の定員拡大については、現在2020年4月1日開設として募集している認可保育所については、事業者には地域の保育需要を考慮した3歳児定員の設定を求めており、特に近隣に小規模保育事業所が存在する地域について、卒園後の受け皿の確保を必須とした。今後も保育需要の動向を適切に把握しながら、保育の受け皿の拡充を進める。

待機児童解消に向けては、施設整備の他に、今年度から昼間の延長保育室を利用できる区立保育所1園と、新規開設する私立保育所の4,5歳児クラスの空き定員分を活用し、2歳児を対象とした定期利用保育事業を開始。31年度は、区立保育園では継続して2歳児を15人定員で受け入れ、新規開設する私立保育所のうち4箇所、計48人分の定員を想定し、入所待機となった3歳児の受け入れを予定。

【鈴木あやこの要望】

2歳児まで対象の認証保育所などの認可外に預けている方に対しても、2歳までの小規模保育園と同様に受け皿確保や3点の加点を要望しました。

④AI(人工知能)を活用した保育所入所選考の迅速化について

自治体の保育入園業務におけるAIの活用が注目されており、港区でも昨年10月にAIを導入し、業務の短縮化を実現した。入所選考手続きが迅速化すると、通知も早く出せ、選考に漏れた保護者も次の保育施設の検討に移れ、入園準備に多く時間をかけられる。

江東区では、AI導入をどのように考えるか。



【答弁】

AI導入のメリットは大きいと考えており、区としても昨年10月にAIの開発事業者を訪問し、導入に向けた調査研究を実施している。AIを用いた場合、通常の手作業の選考と比較して、精度の向上が課題とされている。先行導入した自治体の状況や課題、費用対効果等をふまえながら、本区での導入について検討する。

鈴木あやこ 4つの政策

政策1. 仕事と子育ての両立～子どもたちの未来のために～

- ①待機児童の解消と病児保育の充実
保育施設整備による待機児童の解消と病児・病後児保育の充実
- ②子育て支援の充実
地域の子育て支援拠点を強化し、子育ての不安解消と児童虐待を防止



政策2. 高齢者施策の充実～お年寄りの未来と安心のために～

- ①高齢者を地域で見守るまちづくり
地域包括ケアの強化で、高齢者が地域で安心して暮らせるまちづくり
- ②元気な高齢者の活躍支援
元気な高齢者が地域で活躍できるよう、就業支援や市民活動の参加を支援

政策3. 2020年東京オリンピック・パラリンピックの先を見据えた新しいまちづくりの推進

- ①交通網の充実
地下鉄8号線(豊洲～住吉)の早期実現と水上交通の推進
- ②江東湾岸エリアの持続的な発展
オリンピックレガシーを活かしたまちづくりや、豊洲市場のにぎわいづくりにより、江東湾岸エリアの魅力向上



政策4. ICTを活用した区民サービスの向上

- ①ICT(情報通信技術)を活用した区民サービスの向上
子育て・教育・医療・防災分野にICTを積極的に活用
- ②AI(人工知能)やRPA(ロボットによる業務自動化)の活用
AIやRPAを活用し、区民サービスの向上や、効率的な行政運営を実現

